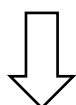


令和6年度 多摩市在宅医療・介護連携推進協議会のテーマ（案）について
在宅療養に係る課題アンケートまとめから

項目	現状	対策
①日常の療養支援	・在宅療養のイメージがない。 ・包括支援センター・在宅療養支援窓口の認知度がまだ低い。 ・介護保険の申請に時間がかかる。 ・歯科・薬剤師の機能をうまく利用できていない。	事例でサービスの理解
②入退院支援	・医療から在宅への連携が不足している。 ・急に退院したり、病院が遠方であったりし、調整する時間がない。 ・病院の機能別の役割が理解されていない。 ・入院で家族の問題（経済的・キーパーソン不在など）が顕在化する。	連携の強化 病院の機能の理解 （医療入院・レスパイト入院・リハビリ入院）
③急変時の対応	・急変時の対応のイメージが家族・本人ともにない。 ・気持ちが変化することが多いが、ACPなどで日頃確認することは必要。 ・延命治療を望まなくても救急車を呼んでしまい心肺蘇生がされてしまうことがある。	救急車の要請について 【現状と課題】
④看取り	・在宅で看取りのイメージがない。 ・自宅でなくなるのは怖い。 ・家族間での意思統一ができない。 ・介護職のマンパワー不足など	看取りのイメージ化 専門職の関わりがあるとよい



令和6年度在宅医療・介護連携推進協議会テーマ（案）

長期目標 「在宅療養の現状と課題を知り、安心して在宅療養を継続できる」

令和6年度の目標：救急と医療の視点から在宅療養の現状を知り、急変時に必要な準備ができる。